



[2018年4月7日発行 会報第922号]

今週のプログラム

(2018年4月7・8日 第922回例会)

「出雲大社特別例会」

担当：渡邊 了允 職業奉仕委員長
山下 聡一郎 親睦委員長

次週のプログラム

(2018年4月12日 第923回例会)

卓話 「鍾馗さんのこと」

池田 進 名誉会員

担当：山田 克子会員

[第921回例会 (2018年3月29日) の記録]

<会長の時間>

水本 徹会長

世界の宗教は多く存在しますが、身近な宗教で対照的に言われるのは、やはり「仏教」と「キリスト教」になると思います。この二つの宗教の根本的教義によって立つべきことと、目指す心構えを一言で言うとしたら、先週の会長の時間でも述べました「慈悲」と「愛」になります。

しかし、多くの方は慈悲も愛も同じで、表裏一体のようなものだと言われます。

ただ、二つの宗教のスタンスが同じなら、同じ宗教になりますし、「慈悲」と「愛」が違うからこそ、教義が成り立っているのです。

簡単にこの二教を言い表す事は不可能に近いですが、「キリスト教」における神は絶対神であり、原罪を負う人間は、神には成り得ないし、究極おそばに召されるので、「愛」の善行を成し、懺悔し、少しでも罪を軽く、お許し戴くのです。「仏教」における「慈悲」は、悟りを得るための手立てであり、菩薩へ向かう発心の表れで、仏教は悟れば成仏し、仏さまに誰でもなれるのです。だから、与えるだけの「愛」と、仏を目指す「慈悲」は根本的に異なり、他に向かう姿勢も、難儀な方に奉仕を「してやる」と、その方のお蔭で「させて頂く」の違いとなります。

「おかげさま」は慈悲の実践であり、この精神こそロータリーの奉仕に繋がっていくと思います。

＜お客様＞ なし

＜出席報告＞ 岸上 和典出席担当
会員数（内出席免除会員1名） 20名
本日の出席者数 16名
（内出席免除会員1名 名誉会員0名）
本日の出席率 80.00%
前々回（3月15日）の修正出席率 80.00%

＜ロータリー・ソング＞ 全会員
♪限りなき道ロータリー

＜本日のピアノ曲＞ 近藤 美里さん
♪桜色舞うころ
♪桜坂

＜幹事報告＞ 山本 友亮幹事
1. 3月27日(火)にグループメールにて出雲例会の旅行費用一覧表を添付致しました。
11名の方々が既にお振り込み頂いておりますが、お振り込みが未だの方は、旅行出発までに宜しく
お願い致します。

＜SAA 報告＞ 木下 吉宏 SAA

※スマイルボックス

水本会員 渡邊会員、出雲大社参拝、大変お世話になり、ありがとうございます。
藤田会員 本日、例会終了後、次年度理事会です。皆様宜しく申し上げます。
山下会員 コメント無し

※ロータリー財団

木下(健)会員 渡邊会員、卓話宜しく申し上げます。
藤田会員 桜は、満開ですね！！
山下会員 コメント無し

※米山記念奨学会

藤田会員 水本会長杯ゴルフ、山本友亮幹事お世話になりました。
松田会員 体調悪し、花粉と風邪。
木下(健)会員 鄭君、26日に帰国しました。
柳原会員 桜、満開です。
山下会員 コメント無し

※ラオス基金

柳原会員 桜通りが、すごく綺麗です。
山田会員 出雲旅行の後の4月12日の例会日は、池田名誉会員が卓話に来てくだ
さいます。皆様よろしくお願い致します。
山下・渡邊会員 コメント無し

※メイプル基金

出雲大社の縁結び 神代の時代から続く最古の神社 出雲大社には、神話に登場する神々をお祀りしたおやしろが幾つもあります。島根県の出雲は神々が住まう地として、また、日本神話の里として有名で、その中心となるのが出雲大社です。威容を誇る壮大な神殿が、数千年の時を超えて厳かに建っています。八雲立つ出雲大社の境内には、神聖で荘厳な“気”の流れが満ち溢れ、神代の世界が今に至るまで連綿と存在している気配を感じさせられます。出雲大社は島根県出雲市大社町に鎮座し、全国の神様が集うお社で、出雲国第一の神社です。正式名称は『いずもおおやしろ』ですが、一般的には『いずもたいしゃ』の名で親しまれています。古代より明治4年までは杵築大社(きづきたいしゃ・きづきおおやしろ)と、呼ばれていましたが、明治4年に出雲大社と改称されました。創建は古く、神代の時代とされていますが、詳しくは不明です。創建のいきさつは『古事記』『日本書紀』が伝える出雲神話の中の「国譲り」の場面に記されています。『古事記』が編纂されたのは和銅五年(712年)のことですから、既にこの頃には出雲大社は存在していたと思われます。出雲大社は神代の昔に、天照大神の命によって神々が作られた、貴いおやしろなのです。こうして創建された出雲大社は、古代より重視され、平安時代後期から中世になると、出雲国の一宮として重要な位置づけとなり、今日に至ります。出雲大社の主祭神は大国主大神ですが、神仏習合の影響で鎌倉時代からは天台宗の鰐淵寺と関係が深まり、鰐淵寺は出雲大社の神宮寺も兼ね、中世のある時期からスサノオノミコトを祭神とした時期もあったそうですが、現在は大国主大神が主祭神になっています。

出雲大社のご利益といえば、まず『縁結び』があげられますが、なぜ縁結びの神様といわれるのでしょうか。一つには主祭神の大国主大神は、神話の世界で最も多くの妻を持っていたからといわれています。また、二つ目には、出雲大社には10月になると全国から神様が集まってきて、縁を結ぶ神議(かむはかり)という神事が行われていたことによると言われます。一般に10月のことを『神無月』といいますが、出雲地方では日本国中の神様が集まってきて会議をするので『神在月』といいます。大国主大神は皇孫に国を譲り幽世の神事を行うことになりましたが、これは人には見えない、耳には聞こえない、神や靈魂の世界のことです。そこで、目に見えない神々の世界を治めるため、毎年、10月になると全国から神々を集めて人々の縁組などについて、会議を行っているのです。ここから出雲大社が縁結びの神様といわれるようになったのです。江戸時代には「出雲は仲人の神」といわれていたそうです。出雲大社の縁結びの縁とは、男女の仲に限らず、すべての縁を言います。つまり、人、職場、社会、お金、健康などの縁も含まれます。

出雲大社のご利益は、縁結びだけではありません。出会い、人間関係力アップ、人脈作り、金運、開運、除災招福、子宝、安産、家内安全、国家鎮護などにご利益があるとされ、年間二百万人もの人が参拝に訪れるのです。また、平成二十五年(2013年)は、伊勢神宮とともに、式年遷宮が行われましたので、ますます訪れる人が増えて、出雲地方は大変な賑わいを見せました。出雲大社の神域は、日本最古の神社建築様式の国宝が建ち並ぶパワースポットです。松並木の参道を行くと、まず戦後最大の木造建築である拝殿があり、ここで参拝者は拝礼します。ふつう神社の拝礼は、二拝二拍手一拝ですが、出雲大社では『二拝四拍手一拝』と特殊です。

縁が幸福を呼ぶ！出雲大社の縁結び効果で人生に福を呼び込みましょう。

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

神は人の敬(うやま)いによりて威(い)を増し、人は神の徳によって運を添う(御成敗式目より)参拝者の熱意と本気に神さまは神威を一層増大され、偉大なる神氣を私たちの前にあらわします。盛んにお参りをする事、強く敬い祈念することで神さまの御力(おちから)は汪汪(おうおう)と発揮されて人々の願いに浸透してゆき、そしてその結果、人は神さまからの徳をいただき幸運を添えさせていただけるのです。

(文責 渡邊了允)